

10月1日 内閣府大規模地震時訓練を行いました。

南海トラフ地震を想定した大規模地震時医療活動訓練を国・各関係機関と連携して実施しました。当院は災害拠点病院であるため、このような訓練を通して、大規模災害発生時における救急医療体制を整え、迅速な対応ができるよう努めてまいります。



ON AIR 東海ラジオで CM放送を行っています

東海ラジオ FM92.9MHz AM1332kHz
番組名「GRooVE929〈グループナイントゥーナイン〉」

〔放送〕月～金 6:30～9:00

DJ: デイル

CM放送期間 10月3日(月)～12月30日(金)
CM放送 毎週月・火・木・金 AM7:30頃



CMメイキングの様子を
当院Instagramで
ご覧いただけます

診療日カレンダー [Calendario de Atención]

■ 休診 [Feriado] (2022年_2023年)

11月							12月							1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4					1	2	3														
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28				



JA愛知厚生連
豊田厚生病院
TOYOTA KOSEI HOSPITAL

〒470-0396 愛知県豊田市浄水町伊保原 500-1
TEL (0565) 43-5000 (代表) FAX (0565) 43-5100 (代表)
URL: <https://toyota.jaaikosei.or.jp>
E-mail: tk-hosp@toyota.jaaikosei.or.jp



豊田厚生病院

私たちはたえず 新しい医療のあり方を追求し 優しさと温かさを大切にして 地域の人たちと共に歩みます

カモメイト

Vol.97

autumn

ご自由にお持ちください

特集 救命救急センター



INDEX

P2 救命救急センター

P4 誤嚥性肺炎のお話

P5 患者満足度アンケート調査結果

P6 連携医紹介

- 杉浦内科クリニック
- たいや内科クリニック
- 小早川整形外科・内科
- おおくぼ内科クリニック
- 京町クリニック
- いせき内科クリニック

P8 news



救命救急センター 看護部長 福田 郁栄

副院長 地域医療福祉連携部長 水野 敬輔

救急科 竹村 元太

救急科代表部長 中島 成隆

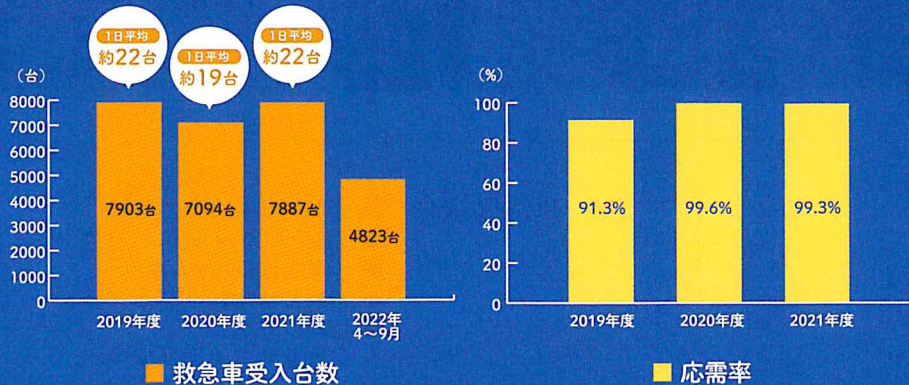
救命救急センター

24時間365日“断らない救急”をモットーに、救急の患者さん全てに最善の医療の提供を目指す。それが当院の「救命救急センター」です。2022年4月から新体制のもと、西三河北部医療圏の“最後の砦”となる救急医療を担っています。

01 救命救急センターが受け入れる救急車は、年間7,800台(2021年実績)、2022年も上半期(4月～9月)で4,800台を受け入れており、受け入れ率99%の実績を維持しています。

救急車で搬送される、心筋梗塞、脳卒中、交通事故、熱傷など生命の危機に瀕した重症患者さんには、各専門診療科や職種との連携による的確な救急処置・治療が施され、重篤患者さんの管理に不可欠なICU(集中治療室)6床、ICUに並ぶ重症集中ケアができるHCU(高度治療室)24床を備えています。

一方、テレビドラマでよく見かける重篤な患者さんの集中治療風景だけが、救命救急センターの日常ではありません。救急車で搬送される患者さんだけでなく、自力で「救急外来」を受診される方の中にも、緊急の対応を必要とする患者さんはいます。軽症から重症まで「救急外来」を受診される患者さんは全て「救急」とであるという意識のもと、“断らない救急”をモットーに診療を行うのも当院救命救急センターの使命といえます。



みなさまの地域のかかりつけ医をご紹介します

小早川整形外科・内科

診療科目 整形外科・内科

住 所 豊田市市木町5-1-2

電 話 (0565)88-3311



院長 小早川 裕明



患者さんの目線に立ち、患者さんそれぞれに合った治療法を提案しています。整形外科の領域では、整形外科専門医・脊椎脊髄外科指導医が診療しています。内科の担当は女性医師で日本循環器学会専門医、在宅医療も行っています。手術応需・ペイン外来・禁煙外来・予防接種・健康診断・産業医等に対応しています。地域の方の元気を支えたいとの想いで診療を続けています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／	／
17:00～19:00	○	○	○	○	○	／	／	／

／:休診

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／	／
17:00～19:00	○	○	／	／	○	／	／	／

／:休診

連携医療機関紹介

おおくぼ内科クリニック

診療科目 内科・消化器内科

住 所 豊田市浄水町南平56-1

電 話 (0565)76-5922



院長 大久保 賢治



当院は2013年10月浄水町に開院し10年目を迎えました。消化器疾患を中心に診療し、胃、大腸内視鏡、腹部エコーなどの検査で消化器癌の早期発見に力を入れており、急な症状悪化に対しては院内で血液検査を行い迅速に豊田厚生病院と連携させていただいています。また地域のかかりつけ医として発熱や高血圧、脂質異常、糖尿病など広く内科全般の診療を行なっていますのでお体のことで不安を感じましたらお気軽にご相談ください。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／	／
16:00～19:00	○	○	／	○	○	／	／	／

／:休診

- 初診の方の受付時間 午前8時45分～11時30分、午後15時45分～18時30分
- 再診の方の受付時間 午前8時45分～11時45分、午後15時45分～18時45分

京町クリニック

診療科目 内科

住 所 豊田市京町4丁目8番地1

電 話 (0565)42-6666



院長 平山 眞彦



この町の頼れる『健康創造パートナー』として、信頼できる医療を患者さんにとってもっと身近という理念を掲げ、開院いたしました。「そもそも病気になるないための健康管理や生活習慣病予防のアドバイス」や、「病気になるってしまったからの急性・慢性疾患への対処」を中心としたトータルでの医療サービスを提供していきたいと考えております。皆様の健康向上に少しでも貢献できますことを喜びいたします。どうぞ、末永くよろしくお願いいたします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／	／
12:00～14:00	往診・訪問診療					／	／	／
14:00～17:00 (受付時間 14:00～)	○	○	○	○	○	／	／	／

／:休診

いせき内科クリニック

診療科目 内科・循環器科・小児科

住 所 日進市栄3-1311

電 話 (0561)72-6555



院長 井関 淳



平成13年から7年間、加茂病院(現豊田厚生病院)で循環器内科医として勤務させていただき、平成20年4月に日進駅の近くで「いせき内科クリニック」を開院しました。循環器内科を中心に内科全般の診療を行っていますが、豊田厚生病院には病診連携で多くの患者さんをご紹介いただき大変お世話になっております。日進市は人口の増えている地域でして近隣に大学病院もありますが、最近では患者さんからの要望で豊田厚生病院に紹介状を書くことが増えています。開業医としてできることは限られていますが、今後とも日進市近隣の患者さんと豊田厚生病院のかけ橋になりたいと考えています。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／	／
16:30～19:30	○	○	／	○	○	／	／	／

／:休診

予防接種は原則として12:00～12:30、16:00～16:30の間に受け付けております。事前に電話で予約をお取りください。

2022年6月開院

杉浦内科クリニック

—杉浦知範 院長に伺いました—

Q1 クリニックの特色を教えてください

循環器領域を中心に内科全般を診療しますが、専門医資格を有する難治性の高血圧・脂質代謝異常、大小血管・心疾患に注力しております。これまでの経験から、①地域の皆様の健康に寄り添う、②健康長寿の延伸と地域医療の向上、③安全で安心できる医療の提供、という三点を理念に掲げてスタッフ一同で診療しております。

Q2 地域医療について先生が大切にしていることは何ですか？

地域医療連携では患者さんの立場、送られる病院側の立場を考えるようにしております。前職の大学病院在職中には患者さんを紹介される立場でしたが、これまでとは逆の立場となりましたので自分が紹介を受ける立場であったらということを想定し、地域医療連携を活用するよう心がけております。

Q3 地域の皆さまへメッセージをお願いします

高血圧や動脈硬化は脳や心臓、血管の病気の発症および進行に強く関与しますが多くは発症まで症状がないまま緩徐に進行します。血圧値や動脈硬化に関連する検査値を自分で把握し、適切に管理するための指標としましょう。杉浦内科クリニックではそのような方の疾病予防・治療のサポートをさせていただきます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	／	／
16:00~18:30	○	○	／	○	○	／	／	／

受付時間:午前/8:30~12:00 午後/15:30~18:30 〃:休診



院長 杉浦 知範



住 所
豊田市市木町6丁目38

電 話
(0565)87-2551

2022年5月開院

たいや内科クリニック

—加藤 大也 院長に伺いました—

Q1 クリニックの特色を教えてください

当院は1型糖尿病(小児を含む)、生活習慣病(2型糖尿病、高血圧症、脂質異常症、骨粗しょう症、肥満症など)、甲状腺疾患の専門クリニックです。専門資格を有するスタッフが多数在籍しています。またポルトガル語・スペイン語の通訳も在籍しており、その必要な方々の治療もサポートいたします。専門知識を生かし地域の皆さまの健康維持に貢献できるよう努めていきます。

Q2 地域医療について先生が大切にしていることは何ですか？

当院での受診の結果、より詳しい検査や専門的な治療が必要な場合は、高次医療機関との連携を取り、より良い診療科に紹介するように心がけています。病院とクリニックが情報を共有し連携し合い、スムーズな診療ができることがとても大切だと思います。

Q3 地域の皆さまへメッセージをお願いします

私はクリニックを開設する以前は、17年間にわたって豊田厚生病院で糖尿病や甲状腺疾患等の内分泌疾患、及び生活習慣病を中心とする疾患に携わってきました。早くから病気に対して啓発して、早期に適切に治療介入し、関わる人すべての人に、安心と幸せを届けることが自分のミッションだと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	○	◎	●	○	○	／	／
15:00~18:00	○	○	／	○	○	／	／	／

〃:休診

※診療終了時間の15分前までに受付をお願いします。
◎...専門外来(インスリンポンプ治療など)
●...ポルトガル語・スペイン語の通訳在籍



院長 加藤 大也



住 所
豊田市逢妻町2丁目18-4

電 話
(050)3172-9573

02

ドクターカーによる プレホスピタル・ケアの充実

当院は「災害拠点病院」として広域災害や大規模地震にも対応し、ドクターヘリの受け入れ病院として年間10~30機の受け入れをしています。さらに、新体制のもと注力しているのが、ドクターカーを活用した「プレホスピタル・ケア」の充実です。プレホスピタル・ケアとは、病院に運び込む前に救急医が現場で行う救急活動のことで、これにより患者さんの救命率を上げ、状態の悪化を防ぎます。

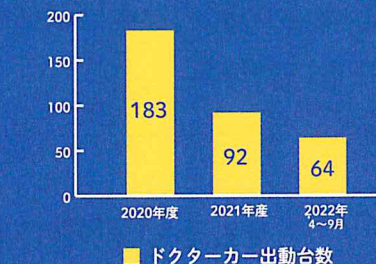
こうした活動が可能なのも、救急医、看護師とともに熟練の医療スタッフが充実しているからにほかなりません。また、未来の地域医療を担う研修医にとっても、救急医療の現場は生きた医療の知識・技能を修得し、使命感を醸成する貴重な場となっています。



03



04



03

「ウォークイン」に潜む 重症者を見逃さない

「救急外来」を自力で受診される患者さんは、救急車で搬送される患者さんより緊急度や重症度は低いと思われがちですが、そうした「ウォークイン」の患者さんが、集中治療室での入院治療に至ることもあります。このような「ウォークイン」に潜む重症者を決して見逃さないために求められるのが、「聞く力」、「観察力」を発揮した的確な「トリアージ」です。トリアージとは、血圧の値や呼吸の回数、体温や脈拍などの客観的な評価に加え、患者さんの反応など意識レベルの確認、患者さんの訴えを通して患者さんの緊急度を判断するもので、普通に話していた人が急変する怖さを知っている救命救急センターの救急医、看護師ならではのスキルといえます。もし、救急外来を受診された際、待ち時間が長かったり順番が入れ替わることがあったとしても、それは一人でも多くの患者さんの命を救うための対応であることを、ぜひご理解ください。



04

地域の医療・福祉関係者との 連携で取り組む救急医療

近年、救急車で搬送される患者さんや、救急外来を受診されるウォークインの患者さんの中で見受けられるのが、生活に困窮されている方であったり、高齢者、障がい者への虐待が潜んでいると疑われるケースです。こうした患者さんには医療的な処置だけでなく、メンタル面でのケアや福祉面での介入などが必要となるため、豊田市消防署やケースワーカーとの連携により対応しています。

救急医療は地域の全ての医療機関、消防関係者、その他多くの方の協力があって初めて成り立つものであり、当院救命救急センターでは、地域の病院、クリニックの皆さまとの連携を含めた強固な救急医療ネットワークの構築により、質の高い救命医療の提供を目指しています。

地域の皆さまには、今後も当院救命救急センターが24時間365日の救急医療体制を維持できるよう、日頃から健康管理を任せられる「かかりつけ医」を持ち、日中に症状がある場合は早めにかかりつけ医を受診するなど、地域の救急医療を守るためのご協力、ご理解をいただきますよう、お願い申し上げます。



誤嚥性肺炎のお話

「誤嚥性肺炎」という言葉を聞いたことはあるでしょうか？

現在の日本において肺炎の死因別死亡率は5位です（令和2年）。肺炎で亡くなる方のうち9割以上が65歳以上の高齢者とされています。また高齢者の肺炎のうち約7割が「誤嚥性肺炎」とも言われていて、近年耳にする機会も多いように感じます。



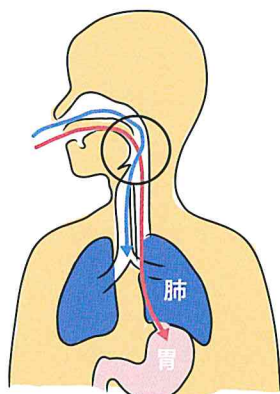
豊田厚生病院 言語聴覚士
萩野周作

Q そもそも「誤嚥」とは何でしょうか？

A 「嚥下」は食べ物や飲み物を「ごっくん」と飲み込むこと指し、「誤嚥」とは食べ物や飲み物、唾液などが誤って気管に入ってしまうことをいいます。

Q 人はなぜ「誤嚥」してしまうのでしょうか？

A 人は進化の過程で二足歩行になりました。その姿勢になったことで舌を細かく動かせるようになり喋ることができるようになりました。姿勢の変化で口や首の構造が変化した結果、食べ物と空気の通り道が喉で交差する構造となり、誤嚥しやすくなったといわれています。



Q 誤嚥は予防できるのでしょうか？

A 構造上、誤嚥しやすい事実は変わりませんが、肺炎リスクを下げる、誤嚥の予防はできます。その一つが『口腔ケア』です。口腔ケアは大きく『器質的口腔ケア』と『機能的口腔ケア』の2つに分けられます。

器質的口腔ケア

口の中を清潔に保つ

歯磨き 入れ歯のそうじ
粘膜・舌のそうじ うがい



機能的口腔ケア

口の機能を正常に保つ

口の運動 発音練習
リラクゼーション 咳を出す練習



器質的口腔ケアでは口腔内の細菌増殖を抑えることで肺炎のリスクを減らし、機能的口腔ケアでは嚥下の力を正常に保つことで誤嚥の予防ができます。健康な毎日を過ごすためにはどちらも欠かせないケアです。口から健康を守っていきましょう。

患者満足度アンケート 調査結果

患者サービス向上委員会

当院では、より良い病院づくりのため、毎年患者満足度アンケートを実施しております。

今年は、外来1168名、入院263名の方々からご回答いただきました。

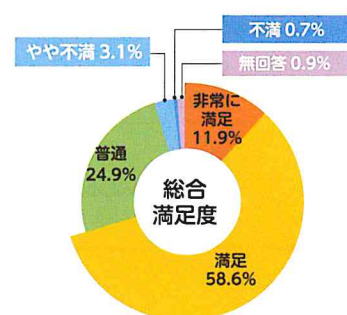
アンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

【対象者】—— 外来または入院患者さん、ご家族、その期間に来院された方

実施期間		配布枚数		回収枚数		回収率
		外来	入院	外来	入院	
実施期間	外来	2日間:7月14日・15日		1,300枚	1,168枚	89.8%
	入院	7日間:7月21日～27日		700枚	263枚	48.5%

外来 総合評価

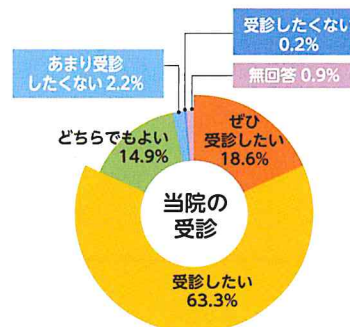
全体として当院に満足していますか？



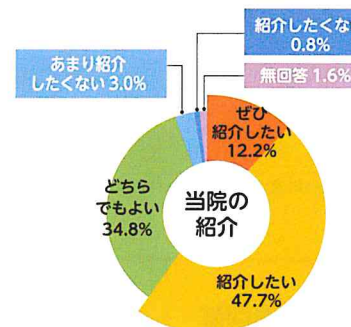
■満足と回答のあった上位3項目

✓医師からのわかりやすい説明 ✓医師の言葉遣いや態度 ✓看護師の言葉遣いや態度

次回も当院を受診したいですか？

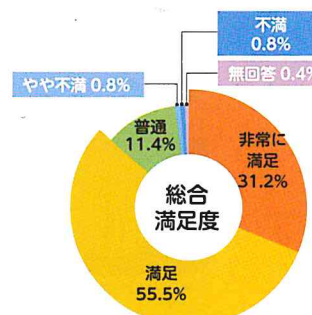


当院を他の方へ紹介したいと思いますか？



入院 総合評価

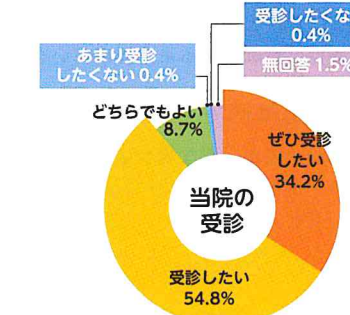
全体として当院に満足していますか？



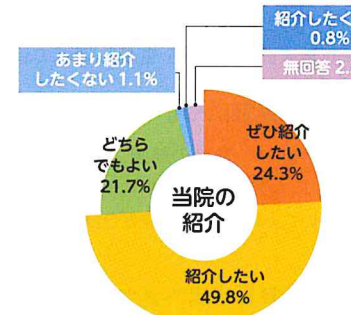
■満足と回答のあった上位3項目

✓医師の信頼・安心できる知識や技術 ✓医師の言葉遣いや態度 ✓看護師の言葉遣いや態度

次回も当院を受診したいですか？



当院を他の方へ紹介したいと思いますか？



総合評価の設問に対して、外来患者の約70%、入院患者の約85%の方が「満足」または「非常に満足」と回答いただきました。入院患者については昨年より5ポイント高い結果となりました。また外来の約8割、入院の約9割の方が「次回も受診したい」と回答され、職員一同励みとなる結果となりました。今後もより一層のサービス向上に取り組んで参ります。一方で待ち時間に関するご意見を多数いただいております。自動会計システムの導入やブロック受付でも計算受付が可能とするなど、待ち時間の短縮に努めております。ご理解のほどお願い申し上げます。